



和敬会だより

第148号

発行所
医療法人社団 和敬会
谷野呉山病院
富山市北代5200
<https://www.wakeikai.com>

発行人
理事長 谷野 亮一郎



日本医療機能評価機構
認定第JC1435号

発行日 令和6年8月7日



医療法人和敬会

基本理念

「希望に満ちた人生の回復を目指して 私たちはあなたと共にある」

基本方針

- ・専門職がチームで関わり、あなたの価値観を大切に医療を提供します。
 - ・常に研鑽に努め、安全で質の高い医療を提供します。
 - ・広く情報公開に努め、あなたと共に考える医療を提供します。
 - ・精神科救急体制の充実や社会資源との連携を図り、地域に根ざした医療を提供します。
 - ・環境に配慮し、地球にやさしい医療を提供します。
 - ・精神疾患に対する偏見の払拭、権利擁護に努め、あなたが自らの強みを発揮できる社会づくりを推進します。
 - ・人材育成に努め、当院に勤務する職員が自らの強みを発揮できる職場づくりを推進します。
- 私たちは基本理念を胸に抱き、健全な病院経営の下で以上の基本方針を実践します。

谷野呉山病院



職員募集専用



こちらのQRコードから
webサイトもどうぞ。



和敬会マスコットキャラクター
ワケちゃん

名札・名刺のデザインを新しく

理事長・院長 谷野 亮一郎

平素より当法人の取り組みにご理解とご協力賜り誠に有り難うございます。

この度、名札および名刺のデザインを新しくすることにいたしました。名札は顔写真を無くし、名字のみのシンプルなものに。名刺には、ホームページのQRコードと当法人マスコットキャラクターのワケちゃんを。



●名札

【旧】



【新】

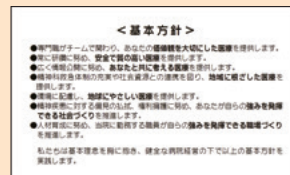


●名刺

【旧】
表



裏



【新】



虐待防止について初任者向けに研修をおこないました

令和6年4月より精神保健福祉法が改正され、虐待防止対策として虐待発見者による都道府県への通報制度が導入されたことに伴い、初任者研修で虐待防止についての研修を行いました。虐待の定義を正しく理解すること、虐待の疑いを感じた時、すぐに上司に報告することなどを含めた内容です。

また「言葉の拘束」といわれる「スピーチロック」について説明し、スピーチロックにあたる

虐待防止に関する事項

精神科病院における虐待防止措置の義務化

- 病院の管理者は、虐待防止のための研修や普及啓発、相談体制の整備等を行う必要があり、指定医はそれに協力しなければならない（法第40条の2）。

虐待を発見した者から都道府県等への通報の義務化

- 病院内で業務従事者による障害者虐待を発見した場合は、都道府県等に通報しなければならない（法第40条の3第1項）。
- 都道府県知事等は通報等に際し、病院の管理者に対して報告や診療録等の提出を命じ、立入検査を行い、改善計画の提出や必要な措置を採ることを命ずることができる（法第40条の5、第40条の6）。
- 都道府県知事は、毎年度、業務従事者による障害者虐待の状況等について公表する（法第40条の7）。

出典：厚生労働省精神・障害保健課資料より

声かけの内容と、それをどう言い換えたらいかがロールプレイを行いました。研修の反省会で「自分も無意識に言葉の暴力をしていたのではないかと不安になった」との声が挙がり、普段の言葉遣いを振り返る良い機会になったと思います。

看護部長 金和 みづほ

デイケアのぞみでバーベキューを開催しました

デイケアメンバーから「暖くなったら一度バーベキューをしたい」との要望が以前から多かったので、5月18日(出)にバーベキューを企画。デイケアのホールとテラスに3つのテーブルを設置し、18名が参加しました。

キャベツ・人参・茄子・エリンギ・枝豆・ガーリックトースト・フランクフルト・焼きそばなどの具材を用意し、メンバーとスタッフと一緒に調理しました。



雑談したり、焼き方について賑やかに話したり、皿を持ったまま焼き上がるのをジーンと待つなど、メンバーそれぞれの楽しみかたで参加している姿が見られました。「今度は、お好み焼きや綿菓子でもいいね。ギョウザやステーキだったらもっといいねー」といった会話も飛び交うなど、大盛況のうちに無事開催することができました。今後も、メンバーの希望を取り入れた季節の行事やイベントをいろいろ企画していきたいと思えます。

デイケアのぞみ所長 岡島 良雄

リレー紹介 谷野医院 外来

令和6年4月より、角谷先生を院長に迎えた新たな診療体制がスタートしました。

院長がほとんどの曜日で診察に出られるようになったことで、不調時などの臨時受診、訪問看護対象者・デイケア通所者の対応や、急な初診の方の受入がよりスムーズになりました。

新体制となって4ヶ月が過ぎました。患者さんから「芙美子先生はもう戻らないの」「芙美子



先生にまた診てもらいたいわ」と言った声がかかることも度々ありながら、我々も患者さんも、少しずつ新しい環境に慣れていっているところです。より多くの患者さんに、より質の高い医療を提供できるよう、職員一同ますます頑張っています。

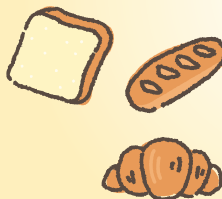
法人の動き

月 日	事 項
5/1	谷野呉山病院の許可病床数を292床に変更
5/13～24	初任者研修
5/18	デイケアのぞみ バーベキュー
5/24～31	春季職員検診
5/28	法人理事会
6/12	職員総会
7/8～20	患者満足度調査

フレンドリーハウスさんによるパンの販売が始まりました

近隣の就労継続支援B型「フレンドリーハウス」さんによるパンの販売が当院で始まりました。

第1・第3金曜のお昼開店ですが、種類が多くお手頃価格もあり、皆さんに好評であったというまに完売すること。



ランニング同好会「G-RUNNING」がリレーマラソンに参戦しました

同好会メンバーと職員有志あわせて27名（3チーム）が、6月2日に太閤山ランドで開催された「いっちゃん！リレーマラソン2024」に参加しました。

大会前に練習会を重ね、さらに今年は谷野理事長デザインのオリジナルTシャツをお揃いで着用し、当日に向けてチームのモチベーションも高まりました。しかし当日は朝から雨模様で、やがて土砂降りに。みんなのテンション駄々下がりのピンチでしたが、スタート直前には雨も上がり、テンションも急回復。各チームが1本のたすきをゴールまで楽しく、そして気持ち良く繋ぎました。

リレーマラソン参加を通じて、サークル活動目的の1つである「職員間の交流・親睦」も深まりました。来年も参加予定ですので、参加希望の職員は同好会メンバーまでお声かけください。



応援するチームメイトと、颯爽と駆け抜ける出走者

紙面に掲載されている患者さまの写真につきましては、掲載に際して、ご本人または保護者のご了承を頂いております。

編集後記

インドア派な自分には、リレーマラソンでいい汗を流した職員の皆さんの笑顔が眩しく映ります。一時期サイクリングにハマりましたが、猛暑や疲れなど自分に言い訳しているうちチェーンにサビが…。持続可能な運動法がないか考え、頭の中だけで体を動かす夏の日々を過ごしています。（志）